

かしん地域密着型金融推進計画進捗状況

(平成21年度の取組)

鹿児島信用金庫

「かしん地域密着型金融推進計画」の取り組みについて

鹿児島信用金庫では、平成21年度に「かしん地域密着型金融推進計画」(平成21年度～22年度)を策定いたしました。

今回のご報告は、平成22年3月までの取り組み状況につきましてご報告いたします。

この「かしん地域密着型金融推進計画」では、

1. 「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」
2. 「中小企業に適した資金供給手法の徹底」
3. 「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」
4. 「協同組織金融機関としての取り組み」

を主要な柱として取り組んでおります。

「中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指す。」

という経営理念を基に、「地域密着型金融のさらなる深化による顧客への満足の提供」を基本方針として掲げ、お客様と私たち

「かしん地域密着型金融推進計画」の取組み状況

項 目	取組方針及び目標	取組み状況(21年4月～22年3月)
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援機能の強化	・地域における創業・新事業支援のための業務に係わる外部機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・かごしま産業支援センターが開催する「ベンチャープラザ鹿児島」の会議に後援として参加しました。本会議の目的はベンチャー企業が開発した新商品を発表し、参加者の中からマーケティング・資金・技術の提供を行なう企業とのマッチングを通して、新事業支援を目指すものであります。 ・参加している企業も商品開発や新事業への意欲が増し活発化してきておりますが、課題としましては当金庫取引先の参画がないことがあり、取引先発掘および資金調達面を今後検討して参ります。
(2) 取引先企業に対する経営改善支援の強化	・取引先企業に対する経営相談・支援機能等の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年から継続して「かしん経営大学」を開催しており、お取引先企業の若手経営者へ「経営戦略や企業発展のため知識」習得を図っております。21年度は13期「かしん経営大学」を開催いたしました。 ・22年度から、お取引先法人企業経営者の人材育成の一助として「かしんトップマネジメント大学」の開校を計画しており、開校に向けての準備を行いました。 ・お客様の経営改善支援に向けて、内部体制の整備を図るとともに、提携コンサルティング会社との連携強化を図り、経営改善支援を現在進行中であります。 ・成果としまして、経営改善に向けての意識がより強くなってきたお客様もあり、お客様と当金庫が一体となった取り組みができるようになりました。 ・また、職員の能力向上が図られ、お客様への適切な経営改善のご相談や指導が出来る様ノウハウ蓄積が進みました。
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	・事業再生を通して当該取引先の事業継続を支援する。また、事業再生に関するノウハウの習得・人材育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の事業再生に向けて、内部体制の整備を図るとともに、中小企業再生支援協議会、税理士、提携コンサルティング会社との連携強化を図り、事業再生支援を現在進行中であります。 ・成果としまして、当金庫及び税理士が積極的に関る事により事業再生に向けての意識がより強くなってきたお客様もあり、お客様と当金庫が一体となった取り組みができるようになりました。 ・また、職員の能力向上が図られ、お客様への適切な経営改善のご相談や指導が出来る様ノウハウ蓄積が進みました。
(4) 取引先企業に対する事業承継支援の強化	・事業承継を通して当該取引先の事業継続を支援する。また、事業承継に関するノウハウの習得・人材育成を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント・弁護士・税理士等との事業承継に関する勉強会を通じ、事業承継税制や法整備等についての情報収集を行い、ノウハウの蓄積に努めました。また、事業承継診断に関するシステム等について具体的な説明を受け当金庫としてどこまで支援できるかの検討を行いました。

「かしん地域密着型金融推進計画」の取組み状況

項 目	取組方針及び目標	取組み状況(21年4月～22年3月)
2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底		
担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	担保・保証に過度に依存しない融資推進を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫と取引実績のあるお客様向けに無担保・無保証商品を販売推進いたしました。 ①事業主様向け商品・・「かしん事業主フリーローン(プロパー方式)」(無担保・無保証) ②後援団体かしんハッピー会員従業員様向け商品 <ul style="list-style-type: none"> ・・「かしんハッピーローン”絆”」(無担保) ・お客様のニーズに適した無担保・第三者保証人不要の商品を開発いたしました。(平成22年6月販売予定) <ul style="list-style-type: none"> ・・「かしんフリーローン”モア”」(無担保・無保証) ・無担保・無保証商品21年度中販売実績・・・272先、7億31百万円
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
取引先企業間におけるビジネスマッチングの強化	取引先企業間におけるビジネスマッチングを実施し取引先企業の事業支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・「かしん経営大学」卒業生企業を対象に、「かしん経営大学ビジネスマッチングプラザ」を構築および参加募集を行い、ビジネスパートナー発掘、販路拡大等に繋がる会員企業同士のビジネスマッチングを推進しました。 ・21年度末誕生企業・・・4企業
4. 協同組織金融機関としての取組み		
(1) 目利き能力の向上、人材の育成	企業分析力・目利き力の向上を図ることで、与信判断力、融資セールス力、経営支援、事業再生が遂行できる人材の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・通信講座、資格試験等により職員のスキルアップを図り、また階層別による研修において各担当の能力向上を図りました。 ・業界団体である全国信用金庫協会及び南九州信用金庫協会の主催する集合研修への派遣いたしました。 ・外部コンサルタントを招いた職員研修、事例研究、土曜勉強会等を実施しました。 ・中小企業再生支援協議会を利用することによる事業再生等のノウハウ取得に取り組みました。
(2) 情報開示の充実に向けた取組み	開示項目や開示方法について、業界団体の検討事項を踏まえ、情報開示の充実に努めるものとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・他金融機関の先進的な取組みを参考にしつつ、ディスクロージャー誌、半期ディスクロージャー誌の内容充実に取り組みました。 ・ホームページに地域密着型金融推進計画の掲載を行いました。 ・一般会員への情報開示方法として、出資配当金計算書に同封する「事業のご報告」を22年度に配布する計画であり、この準備を進めました。

「かしん地域密着型金融推進計画」の取組み状況

項 目	取組方針及び目標	取組み状況(21年4月～22年3月)
4. 協同組織金融機関としての取組み		
(3) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化	<p>・コンプライアンス態勢の整備を図り、コンプライアンス違反及び規程・事務取扱要領違反の発生防止に努める。</p>	<p>・コンプライアンス違反及び規程・事務取扱要領違反の発生防止に向けた内部管理態勢の整備に取り組みました。 ・コンプライアンスチェックリスト及び日常事務チェックリストの内容改正とモニタリングの強化を行いました。 ・コンプライアンス相談窓口の周知およびその積極的な利用を促しました。 ・コンプライアンス研修を積極的に実施し、役職員のコンプライアンス意識の醸成を図りました。</p>
(4) 顧客保護管理態勢の強化	<p>・顧客保護管理態勢の整備及び強化を図るとともに、お客様が安心して当金庫と取引していただけるようお客様の声を積極的に経営に取り込むことに努める。</p>	<p>・お客様からの苦情・相談については、「苦情相談室」を設け一元化を図っております。ここに寄せられたお客様からの声を金庫の経営に反映すべく、お客様の視点に立った業務運営に役立てております。 ・金庫内における与信関連部署および営業推進部署による体制整備および研修を強化し、営業店における顧客説明体制を充実しました。また、監査部門による内部牽制機能を十分に発揮し、不適切な説明体制の是正に努めました。</p>

経営改善支援の取組み実績

【平成21年4月～平成22年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取 組み先 α				経営改善支援取 組み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画策定率 = δ/α
			αのうち期末に債 務者区分がランク アップした先数 β	αのうち期末に債 務者区分が変化し なかった先 γ	αのうち再生計画を 策定した先数 δ			
正常先 ①	2,395	19		17	1	0.8		5.3
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	299	126	5	111	5	42.1	4
	うち要管理先 ③	34	34	7	23	9	100	20.6
破綻懸念先 ④	84	44	0	43	1	52.4	0	2.3
実質破綻先 ⑤	49	0	0	0	0	—	—	—
破綻先 ⑥	41	0	0	0	0	—	—	—
小計(②～⑥の計)	507	204	12	177	15	40.2	5.9	7.4
合計	2,902	223	12	194	16	7.7	5.4	7.2

- 注) ・期初債務者数及び債務者区分は19年4月当初時点で整理
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
 ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
 ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。
 ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」